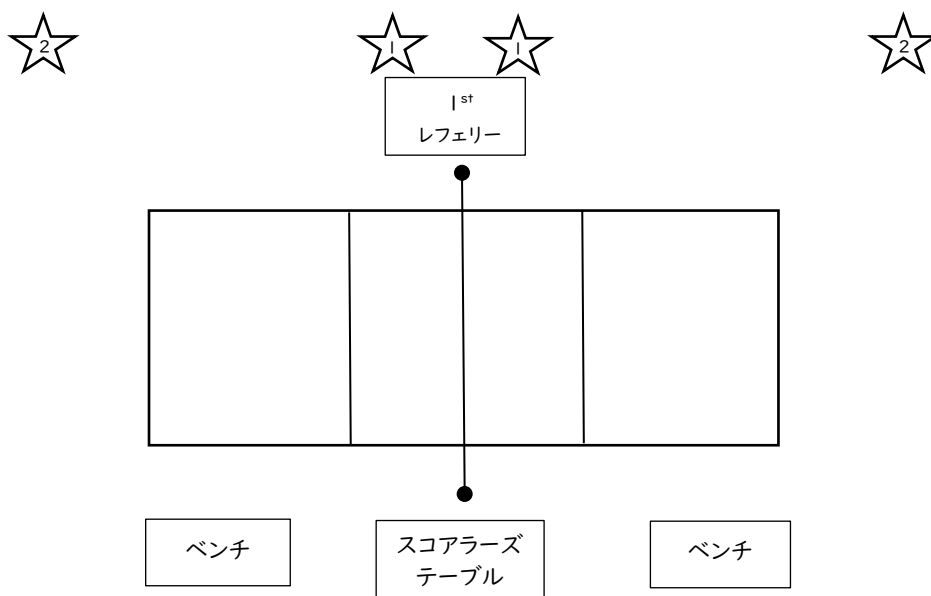


コートワイピングにおけるモップターの配置について

プレーしている選手は常にワイピングタオルを保持し、汗で濡れた場所をラリー間に自分たちで素早く拭きとらなければならない。試合の運営を円滑に進めるために、チームはコートワイピングにおけるモップターを配置してもよいこととする。モップターを配置するチームは次の点に注意すること。

1. 当該試合のチームの部員から2名まで指定された場所にモップターを配置することができる。
 当該試合に登録されているスタッフ・選手をモップターとして配置することはできない。
 服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので行う。
2. 原則、ウェットスポットが発生した際はコート上にいる選手が拭き取ること。モップターはウェットスポットを自分の目で確認したら、**モップター自身の判断で**ラリー終了から次のサービスのホイッスルの間(6~8秒間)に、素早く拭き取る(実際に拭き取る時間は3秒程度)。拭き取った後は元の位置に戻ること。
3. 監督・コーチや選手が、ウェットスポットを拭き取らなことをモップターに指示することはできない。
選手の安全確保のために、レフェリーが拭き取りを要求する際には、コート上の選手に要求すること。
 試合を遅らせる行為に繋がる場合は遅延警告の対象となる。
4. 各モップターの位置は次のとおりとする。
 1人目はレフェリースタンドの後ろに待機する。(主にフロントゾーンのワイピングを担当する)
 2人目はファーストレフェリー側の壁際に待機する。(主にバックゾーンのワイピングを担当する)



5. モップターが応援及びチームのマネージメント行為(ドリンク、アイシング作り等)をすることは一切禁止とする。
 それらの行為はチームに対しての警告となる。
6. モップターが熱中症等を予防するためにドリンクを持参しても構わない。ドリンクはレフェリースタンド下に置いておくこと。また、監督はモップターの健康・安全に最大限配慮すること。

以上の取扱いは神奈川県高体連バレーボール専門部が主催もしくは主管する大会のみの適用とする。